

中毒に関する実績一覧 (症例報告書)

申請者氏名： _____ ○○ ○○

申請者所属施設名： _____ □□□□□

申請者が中毒に関する業務において自ら参加した 10 症例以上の実績を関与の内容がわかるように、それぞれ 150 文字程度で簡潔に記載し提出して下さい。
患者プライバシーは保護して頂きますが、必要な場合は症例確認調査を行います。

【記載例 1】

項目	内容
①. 治療 2. 情報提供 3. 分析 4. その他（剖検など）	年齢： 29 歳 性別： 女性
	診断： 急性医薬品中毒（抗うつ薬）
	入院期間： 5 日間
	双極性障害で通院歴あり。同僚に抗うつ薬を大量服薬したとメール後、発見され救急搬送された。入院時意識障害（JCS-100）と共に QRS 幅の拡大 0.14sec を認めたため、アシドーシスを補正し、心電図モニターを行った。QRS 幅は翌日には正常域に縮小した。5 日間の入院後、完治退院した。

【記載例2】

項目	内容
※当てはまる項目に○印を	年齢： 59 歳 性別： 男性
	診断： 農薬中毒の疑い
1. 治療	入院期間： 8 日間
②. 情報提供	農家の納屋で倒れており意識障害と血圧低下がある患者について照会があった。現場に残された空容器のラベルを手掛りに検索したところ除草剤△と判明した。製造メーカーに農薬成分および溶剤などの製品情報を照会した。さらにこれによる中毒の症例報告を検索して、救急医に提供した。8 日間入院した後、軽快退院した。
3. 分析	
4. その他（剖検など）	

【記載例3】

項目	内容
※当てはまる項目に○印を	年齢： 19 歳 性別： 女性
	診断： 急性アセトアミノフェン中毒
1. 治療	入院期間： 7 日間
2. 情報提供	アセトアミノフェン含有総合感冒薬 2 瓶 120 錠内服し、10 時間後に搬送された患者のアセトアミノフェン血中濃度測定を依頼された。HPLC にて測定した初期値 30ppm、24 時間値 6ppm は Rumack-Mathew のノモグラフにていずれも危険域を下回ると判明した。肝障害は出現せず、7 日間入院した後、完治退院した。
③. 分析	
4. その他（剖検など）	